

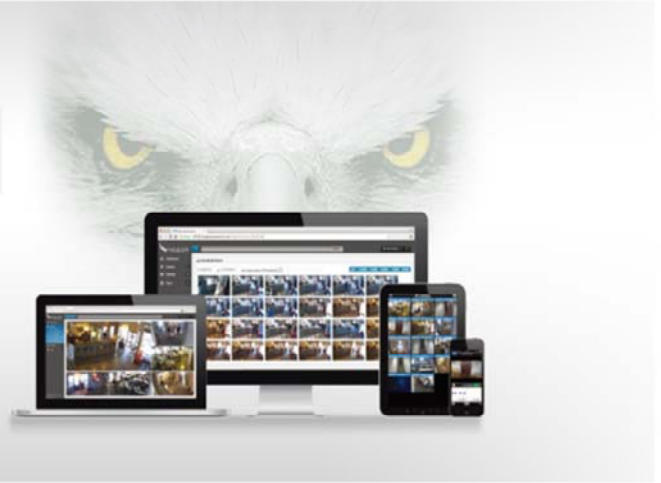
## 第一回：EagleEyeのご紹介



いつでも、どこでも、簡単、安心  
クラウドカメラ

**EAGLE EYE**  
NETWORKS, INC.

サーバー不要 / ソフトウェア導入不要 / 容易な設置



株式会社イグアズ  
テクニカル&クラウド事業部  
2016/6/27

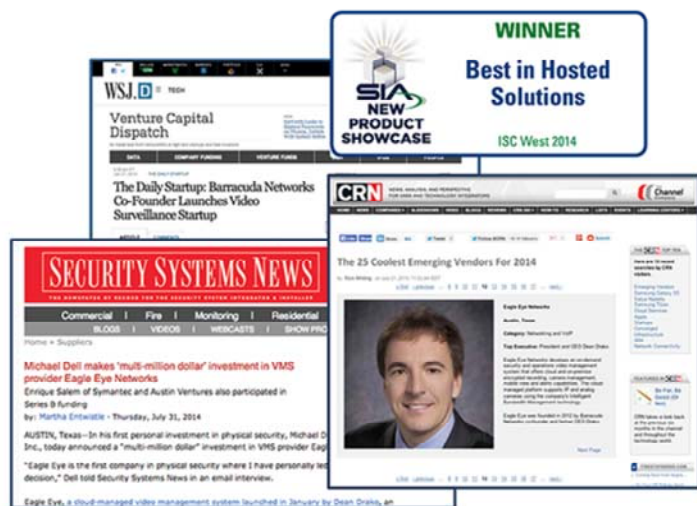
**iGUAZU**

Copyright 2016 iGUAZU Corporation

いつでも、どこでも、簡単、安心、クラウドカメライーグルアイのご紹介。第一回

# クラウド監視カメラシステム EagleEye

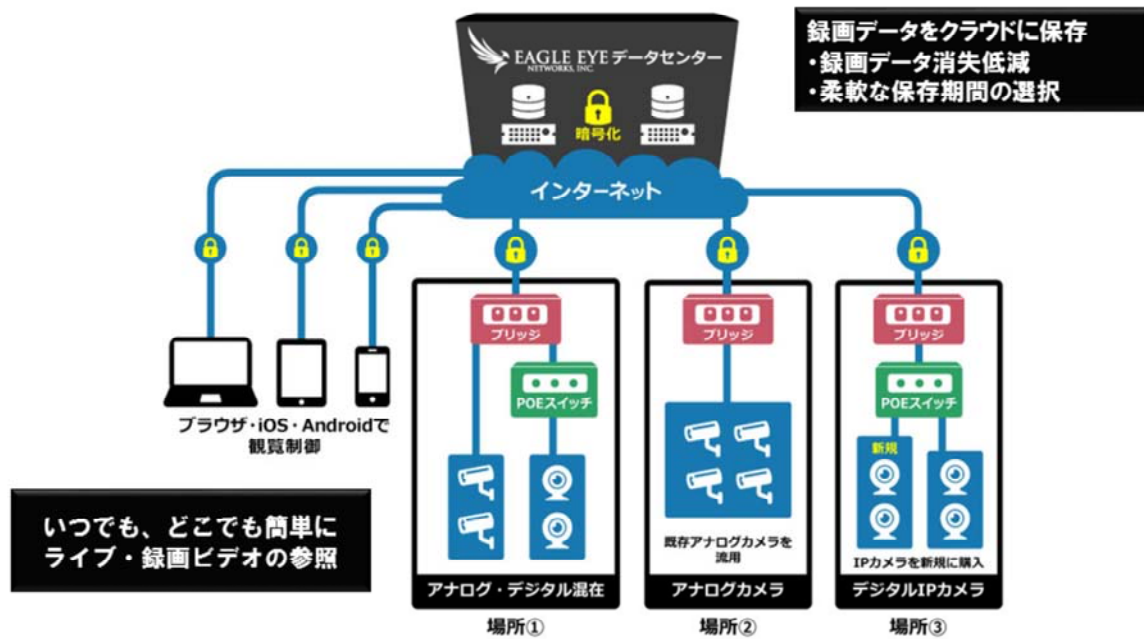
- 2012年7月 バラクーダネットワークスの創業者ディーン・ドレイコ氏が設立
- 2014年1月 Eagle Eye の販売を開始
- 2014年4月 Eagle EyeがSIA “Best in Hosted Solutions” 受賞
- 2015年1月 イグアスで販売開始



Copyright 2016 iGUAZU Corporation

EagleEyeはセキュリティアプライアンスで有名なバラクーダネットワークスの創業者のディーン・ドレイコが設立しました。販売開始直後の米国でのセキュリティ展示会ですぐに受賞し、各種メディアに取り上げられました。このEagleEyeをイグアスは2015年1月からパートナービジネスを日本国内で展開しております。

# いつでも、どこでも、簡単、安心 クラウドカメラ

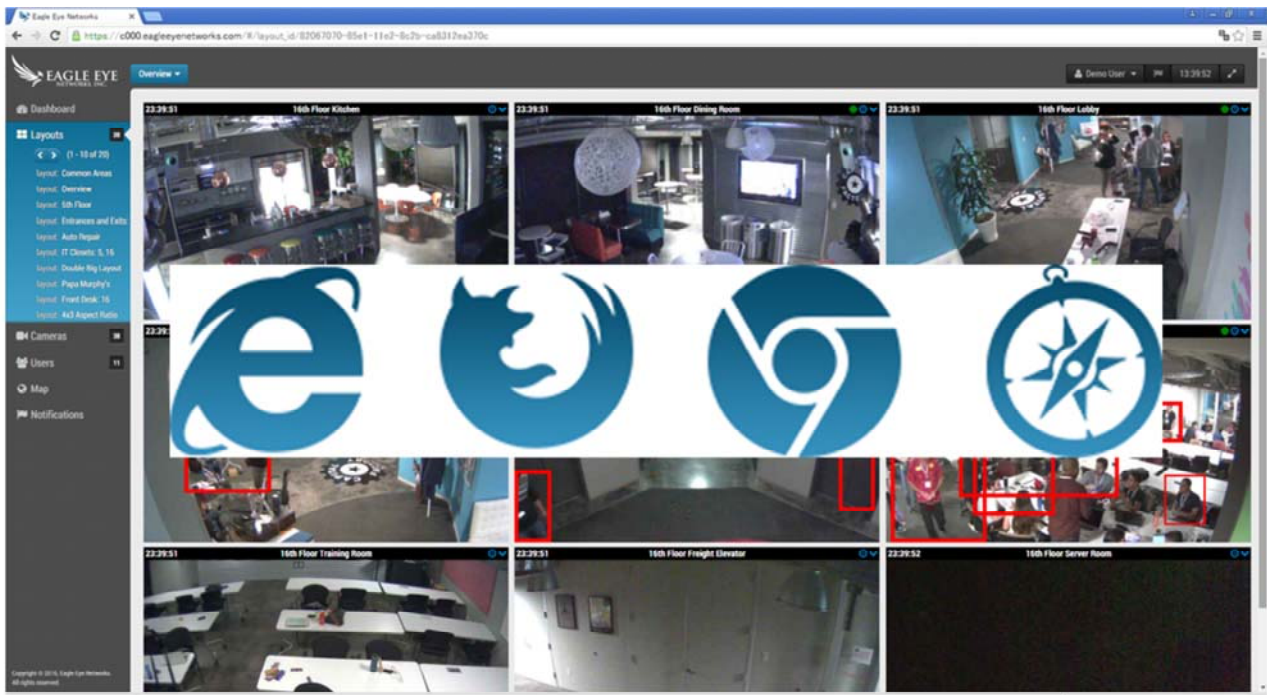


Copyright 2016 iGUAZU Corporation

2

EagleEyeは録画したデータをクラウド上のデータセンターに保存していますので、

# インターネット経由で、どこからでも、参照・設定が可能

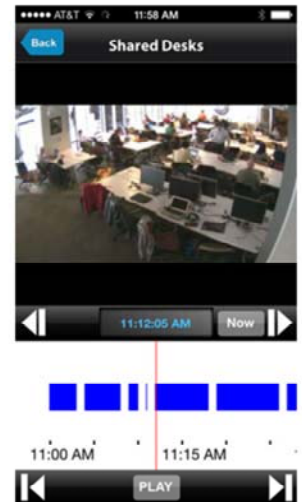


インターネットを経由して、いつでも、どこからでも、様々なデバイス……例えばPCでは各種有名なブラウザはもちろん

## iOSとAndroidをサポート

iOSとAndroidをサポートしているため、iPadやAndroid端末でブラウザ同様の操作が可能です。アプリは無料で提供しており、ブラウザとiOS/Androidアプリ共に同一のユーザーIDとパスワードで利用可能です。

- 無料ダウンロード
- Webと同一ID/パスワード
- ライブ/録画ビデオ視聴
- カメラ管理/構成



Copyright 2016 iGUAZU Corporation

4

Android、iOSのスマホ、タブレット端末を用い、録画画像、ライブ画像の参照だけではなく、権限のあるユーザーは、機器の設定も可能となっています。

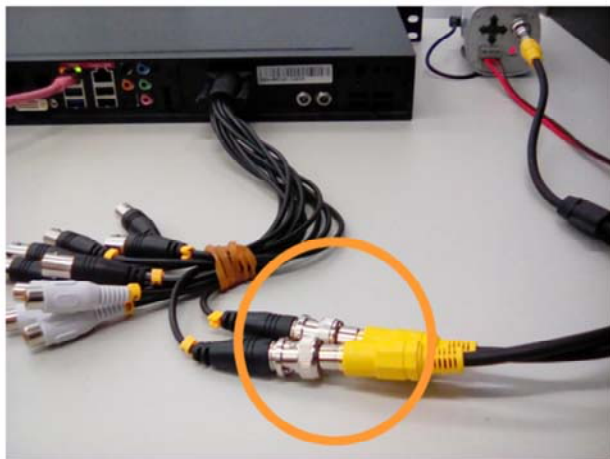
## Eagle Eyeが選ばれる“5つの特徴”

1. IPカメラとアナログカメラの同時使用OK
2. アナログカメラでも動体検知OK
3. データ送信の帯域制御OK
4. 速い動きも高画質で記録OK
5. 送受信データと保存データの暗号化OK

お客様との会話から得られましたEagleEyeの特徴をご紹介します。

## IPカメラとアナログカメラの同時使用OK

- 既存DVRをEagle Eyeシステムに交換していただくだけで、インターネット経由で、パソコンのブラウザ、iPad、Android端末から、いつでも、どこからでも、簡単に、ライブ画像と録画画像の参照が可能です。



Copyright 2016 iGUAZU Corporation

6

インターネット越しに画像が流れる仕組みの場合、暗黙にIPカメラが必要と考えがちですが、EagleEyeではこれまで利用してきたネットに対応していないアナログカメラを直接接続し利用する事が可能です。カメラと配線設備をそのまま流用し、老朽化した録画装置のリプレースには最適です。例えば海外の工場で既にアナログカメラをお使いの場合、アナログカメラのケーブルをEagleEyeに差し替えるだけで、日本に居ながら海外現地のモニターがすぐに可能となります。

これまでの設備を利用しながら、最新式のクラウドカメラシステムへ転用が可能です。

## アナログカメラでも動体検知OK

- Eagle Eyeはシステム自体で動体検知機能を実現しているため、動体検知機能がない既存のアナログカメラでもEagle Eyeに接続するだけで動体検知機能のご利用が可能です。



Copyright 2016 iGUAZU Corporation

7

EagleEyeでは人の出入りが無いはずの場所に設置したカメラが動きを検知した場合、警告メールの送信が可能です。

警告メール受信専用メールBOXを参照することで、異常の有り無しが一目で分かる運用が可能になります。

Eagle Eyeはシステム自身で動体検知機能を実現しているため、動体検知機能がない既存のアナログカメラでもブリッジに接続するだけで警告メールの送信が可能です。



## データ送信の帯域制御OK

- 「大量の動画データが送り切れない」、または「回線がパンクしない」ようにするため、Eagle Eyeは録画データを「少しずつ送る」、または「夜間にまとめて送る」といった帯域制御が可能です
- 従来型の「たれ流しの」IPカメラの場合、大容量で高速の回線が必要でしたが、Eagle Eyeは設定と運用の仕方によって既存回線との相乗りが見込め、回線費用を抑えることが期待できます。



Copyright 2016 iGUAZU Corporation

8

これまでのネットワーク経由でのカメラシステムでは、動画はデータ容量が大きいため、ネット越しでの録画、参照は不得意とされてきました。

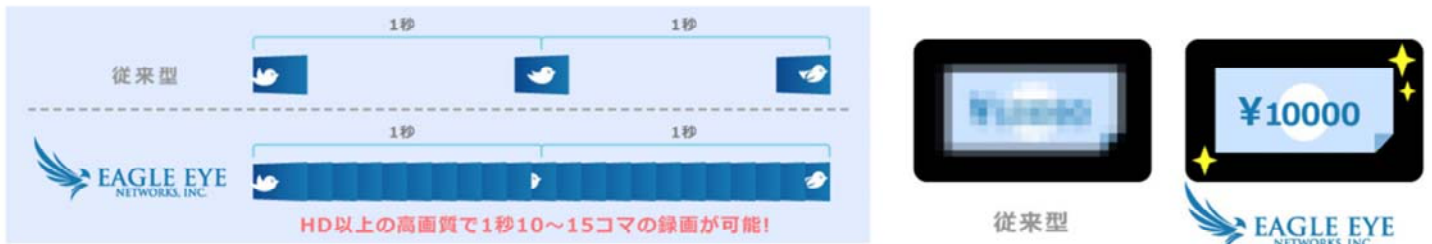
そのため①録画画質を落とすか、②フレームレート(一秒間のコマ数)を落とすか、③広帯域なインターネット回線を別に引き対応するしかありませんでした。

ですがEagleEyeは高画質、高いコマ数での運用が可能です。これは録画データを「少しずつ送る」、または「夜間にまとめて送る」といった帯域制御技術によって可能としました。

従来型の「たれ流しの」IPカメラの場合、大容量で高速の回線が必要でしたが、Eagle Eyeは設定と運用の仕方によって既存回線との相乗りが見込め、回線費用を抑えることが可能です。

## 速い動きも高画質で記録OK

- 録画データが1秒1～2コマのシステムでは、素早い動きを記録ができない場合があります。
- Eagle EyeはHD以上の高画質で1秒10～15コマの録画が可能なので、このような証拠画像の記録に最適です。



Copyright 2016 iGUAZU Corporation 9

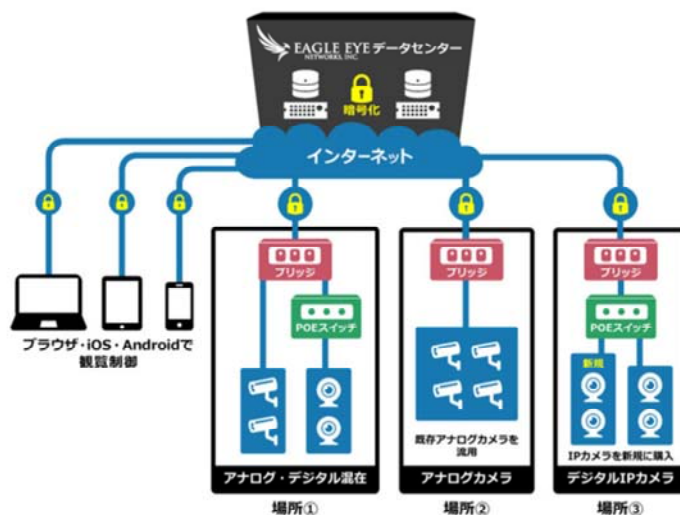
例えば、レジでの支払で、お釣りが少ないトラブル、--お客様は1万札で支払ったと言い、店員は5000円札で支払った、と認識が違っていたような場合、録画データの出番です。

録画データが1秒1～2コマのシステムでは、支払い途中の手の動きが速すぎて記録ができない場合があります。また、5000円札なのか、1万円札なのか、手元を拡大しても確認できるように高画質での録画が必要となります。

Eagle EyeであればHD以上の高画質で1秒10～15コマの録画が可能なので、このような証拠画像の記録に最適です。

## 送受信データと保存データの暗号化OK

- Eagle Eyeは通信中の送受信データとクラウド上の保存データを暗号化をしています。
- データの覗き見、横取りをしても暗号化しているため、意味のないデータとなり、個人情報が含まれる場合でも安心した運用が可能となっています。



Copyright 2016 iGUAZU Corporation

10

録画データには個人情報を含む記録が少なくありません。

そのため、ネットワーク越しのデータの覗き見、横取りによる情報漏えいの防止目的に、専用線やVPNが必要となる場合があります。

Eagle Eyeは通信中の送受信データとクラウド上の保存データが共に、暗号化されているため、覗き見、横取りをしても意味のないデータとなり、個人情報が含まれる場合でも安心した運用が可能となっています。

ありがとうございました

iGUAZU

